

かじ き

広報

1月号

2007.January vol.627

睦月

迎春

▼特集

新首長の志

龍門司焼



あいさつ

加治木町長 笹山 義弘

希望に満ちた新春を健やかにお迎えることと、心からお喜び申し上げます。

私は、昨年の町長選挙において多くの町民の御支援を頂き、第24代町長に就任いたしました笹山義弘です。よろしくお願いいたします。

さて、時代は大きな転換期を迎えており、様々な分野で構造改革への取組がなされております。

こうした中、国の地方財政改革などにより我が町の財政環境は、極めて厳しい状況になっております。今まで以上に創意・工夫を凝らした行政運営が求められており、新しい年を迎え「ふるさと加治木」の一層の発展に向け、決意を新たにしているところです。

これからは、行政も町民も依存意識から脱却し、自らの住む地域

は、自らの手で築くという「自立」の意識をもって、まちづくりに取り組みることが、いま何より大事と考えています。

このため情報公開を十分に図りながら財政の健全化や行政改革をさらに推進して効率化の努力を怠ることなく、町民の皆様とともに汗を流し、知恵を出し合いながら、町民の皆様がより高い満足感を得られる行政運営を目指してまいります。

また、公約の大きな柱でありました、三町合併は早期に実現できますよう十分な協議を重ねてまいります。

この一年が町民の皆様にとりまして、明るく幸せな年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年の御挨拶とさせていただきます。



2007年 年頭の

加治木町議会議長 徳重武秀

加治木町民の皆様、明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、日頃から町政に対する温かい御支援と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

今日、社会経済情勢は、国際化、情報化、少子高齢化等、急速に行しつづあります。このような情勢の中、本町におきましても克服すべき多くの課題を抱えており、行政需要は、その質・量ともますます複雑多様化するなど、極めて厳しい状況にあります。

日本の総人口は、平成十八年の一億二千七百九十三万人をピークに今後、減少過程に入り、五十年後の2055年には現在より約三千八百万人少ない、八千九百九十三万人と予想され、少子高齢化社会はますます深刻となります。

このような事から、本町にとつ

て子育て支援と高齢者対策は、最も重要な問題点として受け止めております。

人口減少は地域を衰弱させ、経済活動を縮小させます。

今後、国庫補助金や地方交付税が期待できない中で、地域振興策をどう推進するかが重要課題となります。

そのためには、加治木・始良・蒲生三町の特性を生かした合併が必要であり、加治木町議会といたしましては、より豊かな住み良い町づくりを目指して、積極的な提言を行い、町民皆様の御期待にこたえるよう決意を新たに努力してまいります。

どうぞ本年も相変わらぬ御支援・御鞭撻を賜りますよう、心からお願い申し上げます。新年の御挨拶いたします。

町長所信表明

加治木町長 笹山 義弘

先に執行されました加治木町長選挙において、町民多くの皆様から信任をいただき、第二十四代加治木町長に就任させていただきました。笹山義弘です。もとより微力ではありますが、町の発展と町民の福祉増進のため、全身全霊を傾注してまいります。

私は、多くの議員の皆様と、四年前まで三年間議席を共にし、様々な経験をさせていただきました。改めてそのことについて感謝申し上げますとともに、立場こそ変わりましたが、今後とも御指導を賜りたく衷心よりお願い申し上げます。

今般、町長室を一階から二階へと移設いたしましたことについて、御説明申し上げます。

町行政を図る上で、町長室には色々な立場の方が出入りなさいます。個人を含め法人のプライバシーを守る観点からと、保全を考慮して、町長室を二階へ移設いたしました。

なお、開かれた町政という観点から、町長室の開放につきましては、予約化し、町民の皆様の声を直接お聞かせいただけるように、今後進めてまいりますので、御理解いただきたいと思います。

さて、私たちの加治木町は、古くから交通の要衝として一時期、薩摩・大隅・日向の政治・経済の中心地として栄えました。とりわけ1912年（明治四十五年）県下で初の町制を施行し、間もなく百周年を迎

えるという輝かしい歴史を持っています。しかし、過去の栄光とは裏腹に、現状は活力に満ち、魅力溢れる町とは言いがたく、閉塞感が漂う町となつてしまいました。平成の合併で県内九十六の市町村が、現在四十九になりました。地方交付税が大幅にカットされ、その上、自主財源に乏しい私たちの町にとっては、合併は単なる目的ではなく、生き残りの手段だと私は認識しております。そこで、公約の大きな柱でありました、加治木・始良・蒲生の三町合併については、三町の町長間の信頼関係の構築と意思の確認をすることが肝要かと考えますが、私としまして、次のように提案してまいりたいと考えております。

まず三町長間において、当面は勉強会を実施し、来年四月実施の町議会議員選挙の結果を受けて、早期に任意協議会を立ち上げ、そして、任意協議会の中で合併について十分に協議いたします。その後、その結果を受けて、法定合併協議会に切り替えて、新合併特例法の2010年（平成二十二年三月）までの早い時期に合併実現を目指してまいります。

なお、任意協議会から法定合併協議会を経て合併までの期間を約二年と試算しております。いずれにいたしても、前回、合併が不成立に終わったことの反省に立って、合併協議を進めることが大事なことだと考えます。

次に、町民の生活に密着したごみの問題ですが、始良郡西部衛生処理組合で進めている、ごみ焼却施設につきましては、三町の町長が出揃いましたので、新しい管理者の下で、もうこれ以上、地域住民に迷惑を及ぼさな

いよう、早期に建設が図られるよう、全力で取り組んでまいります。

次に、加治木町の財政状況についての認識を述べさせていただきます。ただ今は、町税収入の低迷や国の「三位一体の改革」に伴う地方交付税の減額などにより歳入が伸び悩むとともに、歳出面においては、少子高齢化の到来に伴い民生費など福祉関係費が年々増加しております。また、道路や学校等の整備の際に発行した地方債の償還費など、義務的経費の増加により、多額の財源不足が生じております。このような状況の中でも、町民のサービスが一日たりとも停滞することがないよう、平成十七年十二月から「加治木町新行政改革大綱」に基づき、限られた財源を最大限活用するため、事務事業の見直しやコストの縮減に努めておりますが、これまでの行政改革を引き続き実行していくだけでは、この危機を克服することはできない状況にあります。私は、現在の加治木町財政状況を広く町民の皆様に認識いただくため「財政の非常事態宣言」をいたします。そのため、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立するため、徹底した行政財政改革を一層進めるとともに、歳出の徹底した見直しによる選択と集中を進めるため、町長自ら範を示す意味で、私の任期中、町長としての報酬を二割カットする条例制定に向けて準備を進めているところでございます。また、歳入面でも町税など自主財源について積極的な確保策を講じるなど、効率的で持続可能な財政への転換を図ることが緊急の課題であると考えております。

次に、農林業の振興につきまして（自然を守り活かす農林水産業の振興について）豊かで安定し、はつらつとした町民生活を築いていくためには、足腰の強い産業基盤の確立や地域経済の着実な振興を図ることが必要であります。

農業につきましては、農業生産基盤の整備と農地の集約化、地域産品を活かす加工設備が完備し、持続的農業発展の基礎を整えています。また、今後は地産地消システム及び集落営農を促進するとともに、環境にやさしい生産から流通・消費に至る各段階における食の安全・安心の確保に各関係機関や生産者団体等と協調して取り組んでまいります。

林業につきましては、地球温暖化防止など森林の有する多面的機能の発揮や林業の持続的かつ健全な発展のため、町民の森林作りへの参加の促進・守り育てる意識の醸成を図るとともに、健全な森林を育成するための施策を推進してまいります。

水産業については、環境に配慮した漁場の整備と観光漁業としての支援を取り組んでまいります。

次に、企業誘致・活力ある産業の振興についてですが、合併を見据えながら、須崎地区公共用地につきましては、今までの以上の、トップセールスに努めながら、早期に企業誘致が図れますよう努力してまいります。また、旧市街地に多く点在する空き地・空き家の解消を図ることによって、より質の高い住宅を貼り付けながら、人口の増加による活性化に努めてまいります。

次に、お年寄りや障害者に優しいまちづくりについてですが、少子高

齢化に伴い、独居高齢者世帯が増えています。お年寄りや障害者に配慮したバリアフリーの道路整備、地元商店街を取り込んだものの、循環バスの更なる活用、また、デリバリーシステムを構築して、買物の利便性の向上を図ってまいります。

この厳しい現下の財政状況を、広く町民の皆様にも御理解いただくために、インターネットの加治木町ホームページをさらに活用して、町長のページを開設して、財政の状況及び行政の進め方、町長スケジュールの開示、行政財政改革の取組等を掲載してまいります。

町広報紙等にも町民の皆様に分かりやすく、同様の掲載をさせていただきます。また、この十二月から加治木地区事業開始のケーブルテレビの活用も視野に入れながら、情報公開を十分に図ってまいります。

その他の公約に基づく政策については、今後開催される、定例議会において順次述べてまいります。私の選挙公約の「公正・公明で活力あるまちづくり」実現のため、職員と心を一つにして、行政運営を図ってまいりますので、議員の皆様をはじめ、町民の皆様への御理解と御支援を心よりお願いし、私の所信といたします。



第24代加治木町長 笹山義弘氏

四年間の町政を託される

〔任期〕

平成18年12月10日
平成22年12月9日

〔得票数〕

当選 笹山義弘 5,724票
川野威朗 5,693票

任期満了に伴う現職と新人候補二人の一騎打ちになった加治木町長選挙の投票が十一月二十六日、午前七時から午後七時まで加治木中学校など町内十五か所で行われ、同午後八時二十分

から町営体育館で即日開票の結果、新人の笹山義弘（五）氏が、現職を大接戦の末に制し、三十一票の差で四年前を雪辱する初当選を果たしました。



選挙管理委員会委員長から当選証書の付与

当日の有権者数は、一万七千七百五十二人（男八千七十七人、女九千六百八十二人）、投票者総数は一万一千五百七十人（有効一万一千四百七十七人、無効百五十三）で、投票率は、

65.18%（男63.04%、女66.96%）と平成十四年の前回（62.65%）を2.53ポイント上回る結果となりました。

投票率が最も高かったのは、第11投票所（辺川大字公民館）の78.61%、また、最も低かったのは第7投票所（豊町公民館）の50.76%でした。

翌二十七日、町役場内で矢野辰二町選挙管理委員会委員長から笹山義弘氏へ当選証書が付与され、第24代加治木町長が誕生しました。

今回の選挙は、町を二分する激しい戦いとなりましたが、地方自治の現状は国の地方分権の推進に伴い大きな変革を求められています。

町民の皆さん、新しい町長の下、一丸となって、この時局を乗り切っていきましょう。

職員へ最後のあいさつ

川野威朗町長退任式



職員へあいさつ

平成十年十一月二十九日の初当選から二期八年間、加治木町長として町政の発展に尽くしてこられた川野威朗町長の退任式が十二月八日、議事堂で職員や任命権者が参列して行われました。

川野町長は「二期八年お世話になりました。『町民の声を町政に、職員の声を行政に』をモットーに取り組んできました。これまでの間、残念ながら三町での合併はできませんでしたが、介護保険制度のスタート、総合振興計画の策定、男女共同参画事業の推進及び新行政改革大綱の作成などを行うことができました。『と振り返り、さらに『国は、構造改革や三位一体改革を進めており、厳しい時代となっています。これからは皆さんの力で何とか踏ん張ってほしいと思います。最後に、今の心境は『春を待つ花のように試練の時かな』と思います。皆さんには『微笑み返し』を忘れずに、『さ

わやかな笑顔』でお別れします。』とあいさつしました。

行政を代表し、柿内康雄町教育長が「二期八年にわたり、行政のトップとして多くの御指導と御助言に深く感謝いたします。今後は、一町民として木田の里にお住まいとのこと、これまで以上の御健勝を心から祈念いたします。』と送辞を述べました。

川野町長は、退任式を終えると花束を受け取り、車で役場を後にしました。



さわやかな笑顔でお別れ

職員へ初めての訓示

笹山義弘町長就任式

第二十四代の加治木町長に当選した笹山義弘町長は十二月十一日、後援者の拍手の中、初登庁し、役場庁舎内の各課・事務局を回り、職員へ就任のあいさつを行った後、議事堂での就任式に臨みました。

笹山町長は「私は初心を忘れることなく、ポジティブに行動していきます。皆さんは日々の勤務の自己評価や積極的な研究、立案、提言及び行動をして



町長として初めての訓示

行政を代表し、柿内康雄町教育長が「持ち前の明るさと誠実さをもって、町が抱える問題を解決してください。職員の意見を汲み取り、議員との共通認識を打ち立てて、理解と協力を得ながらリーダーシップを取っ



職員へあいさつ回り

て、御指導をお願いします。」と答辞を述べました。

笹山町長は、就任式を終えると、早速、町長室で各課・事務局から事務引継ぎを受け、笹山町政をスタートしました。



事務引継ぎで課題や企画を聴取する

日本ソフトボール協会表彰

迫田正則さん

鹿児島県におけるソフトボールの普及発展に尽力した功績が認められ十一月十八日、(財)日本ソフトボール協会(会長 山崎拓)から町議会議員迫田正則さんへ賞状と記念品が贈呈されました。

迫田さんは、昭和四十八年の加治木町ソフトボール協会設立と同時に地域クラブを結成し、町協会の役員としてソフトボールの普及拡大に取り組み、また、昭和五十四年四月から県ソフトボール協会始良西部支部の役員



迫田正則さん

を歴任されスポーツの振興と地域づくりに貢献されています。現在は、県ソフトボール協会始良西部支部副支部長として、御活躍されています。

迫田さんは、「永く取り組んできたことが評価され、ありがたいことです。これからも若い人たちとのコミュニケーションを図りながら、スポーツの振興や人材の育成などに微力ながら頑張っています。」と話されました。

ハッラップレーで若さを証明 町老人クラブスポーツ大会



入念な準備体操

第十七回町老人クラブスポーツ大会が仲間づくり及び健康づ

くりを目的に町老人クラブ連合会主催で十一月十八日、朝からあいにくの雨天のため役場町営体育館で開催されました。

町内を六地区に色分けし、各種の工夫をこらした十五種目(内採点競技八種目)の競技で、楽しく競い合いました。

選手のハッラップレーに拍手や歓声が体育館内にこだまし、参加者同士、話に花が咲いていました。

時には、進行に戸惑うこともありましたが、そこは年の功、自然とまとまるところが絶妙でした。

なお、この大会ならではの落し物として、補聴器があったことは、御愛嬌でした。

【大会成績】

一位	加治木小地区	54点
二位	錦江小地区	52点
三位	城北城西地区	48点
四位	中央地区	42点
五位	城東地区	38点
六位	小山田地区	35点



“入れよ!!”

元気で生きましょう!! 始良伊佐地区母子寡婦福祉研修大会



柿内町教育長の講演



ユーモラスな“ダンス”

あり」と題する自身の母子家庭に育った経験など、会員の共感を呼ぶ素晴らしい講演がありました。

また、今年は研修中心の内容を一新し、午後から各地区が活動報告として、日舞やダンス、マジックなど日頃の成果を披露し、その演目や舞台で踊る華やかな姿に、会場は拍手の渦となりました。

船迫恵美子町会長は、「会員の皆さんは、個人で趣味を持ったり、みんなで活動に取り組んだり、それぞれが楽しく生きる努力をされています。来年はもっと多くの方に舞台に立つてもらって、お互い称賛し合い、目標を持って、生きる糧としたものです。」と話しました。

不動の心を試す

義弘公奉賛武道大会

鳥津義弘の威徳を顕彰し、武道をとおして青少年の健全育成と健康づくり及び武道の精神の伝承を目的に十一月二十三日、霧島市溝辺町体育館で剣道大会が、二十五日・二十六日、陶夢ランドで弓道大会が開催されました。

剣道大会には百四十六チーム、約八百八十人、弓道大会には百五十六チーム、約五百二十

始良伊佐地区の母子寡婦福祉会の会員が集い、日頃の活動発表や研修を行う目的で、始良伊佐地区母子寡婦福祉研修大会が、十一月十八日、福祉センターで開催されました。

今回で五十三回目。柿内康雄町教育長が講師となり、「元気で生きましょう」苦あれば楽



右から 有島 5 段、下川 4 段



“渾身の一撃”



新地生和君(横川剣 A)による選手宣誓

人の選手が出場しました。
選手は、日頃の修練で鍛えた
“不動の心”を試す絶好の機会
となり、熱戦が各会場で繰り広



手前から3人 優勝した知覧中学校女子C



柿内町教育長のあいさつ

げられました。
また、剣道大会には、十二月
八日から台湾台北市で開催され
る第十三回世界選手権大会へ日
本代表として出場する、有島佳
代五段、下川美佳四段が参加し、
スピード・パワーあふれる技で、
観衆を魅了していました。
【成績・優勝】

◆剣道

▽小学生の部―横川剣道スポー
ツ少年団▽中学生男子の部―南
月剣道スポーツ少年団▽中学生
女子の部―松元中学校▽高校生



手前から3人 加治木中学校女子A

勝)―松田宏幸
▽一般の部(男子三段以下)―
松田宏幸(やわらか戦車)▽一
般の部(女子)―石躍恵利(な
でしこ)▽一般の部(総合優
勝)―松田宏幸
▽中学生男子の部―三笠中学校
B▽中学生女子の部―知覧中学
校C▽高校生男子の部―鹿児島
工業高校A▽高校生女子の部―
鹿児島高校B▽一般の部―やわ
らか戦車(霧島市)

◆弓道(個人)

▽中学生男子の部―川邊直人
(重富中学校A)▽中学生女子
の部―圓田綾(知覧中学校C)
▽高校生男子の部―馬場通生
(加治木工業高校A)▽高校生
女子の部―中間文香(鹿児島工
業高校A)▽中・高校生の部
(総合優勝)―馬場通生▽中・
高校生の部(監督賞)―加治木
工業高校▽一般の部(男子四段
以上)―松元洋一(川内大綱)

◆弓道(団体)

▽中学生男子の部―三笠中学校
B▽中学生女子の部―知覧中学
校C▽高校生男子の部―鹿児島
工業高校A▽高校生女子の部―
鹿児島高校B▽一般の部―やわ
らか戦車(霧島市)

アンコール・アンコール! 加音オーケストラ記念演奏会



凛として観客の喝采に応える

今年で創立十周年の節目の年
を迎えた加音オーケストラ(曾
本新六団長)が十一月二十六日、
加音ホール(大ホール)で創立
十周年記念演奏会を開催しまし
た。

加音オーケストラは平成八
年、加音ホールの開館に合わせ
“地域に根ざした音楽活動を行
い、地域文化に寄与する”の趣
旨の下に結成されました。

幾多の苦楽を乗り越えなが
ら、今日まで定期演奏会、町行
事及び地域の学校・病院などで
演奏を行い、今回で定期演奏会
は十四回を数えるまでになりま
した。

団員は、それぞれの楽器で、
アイーダ大行進曲、交響曲第85



鶴田律晶氏の指揮の下、団員の思いが伝わる演奏



番交口長調「王妃」及び交響曲
第5番ハ短調作品67「運命」を
演奏して、詰め掛けた聴衆の一
人ひとりに、十年間の万感の思
いを伝えていました。
会場からは賞賛とアンコール
の拍手が鳴り止まず、団員の皆
さんは、歩んできたことの確証
を掴み、そして、決意を新たに
したことでしよう。

大ホールに歌声がこだまする 小・中学校合同音楽会



全体合唱「ビリーブ」

音楽を通して生活を豊かにし、合同で音楽会を実施すること

とで各学校の音楽の深まりを学び、同じ町内に住む仲間づくりを目的に十二月一日、加音ホールで町内の五つの小学校と加治木中学校が合同で音楽会を開催しました。今回で、三十五回目。各校の発表の前に、参加児童・生徒・先生及び保護者等の全員で全体合唱を行い、一体感を醸成し、小学校は二曲ずつ、中学校は四曲、合計十四曲の発表となりました。

いずれの合唱・合奏・吹奏楽などの発表も、まとまりがあり、のびのびと練習の成果を披露し、講師の県総合教育センターの山縣祥美先生の講評で、百点満点を頂きました。

加治木町 小・中学校合同音楽会



永原小学校児童の合唱「世界がひとつになるまで」



加治木中学校リコーダー部の楽器紹介

加治木中学校のリコーダー部の楽器紹介では、不思議な音色に小学生は「初めて聞きました。私もやってみたい。」と興味津々でした。

文化の秋を締めくくるとても楽しい音楽会となりました。

天寿を全うしよう

高齢者交通安全講習会

鹿児島県は高齢者の交通事故が減少しないことから、交通安全意識を維持してもらおうと、町老人クラブ連合会主催で十二月一日、福祉センターで加治木警察署の協力を得て、高齢者交通安全講習会を開催しました。

約四十人の高齢者が参加し、ビデオ解説に加え六メートル幅の模擬道路を歩行し、スクリーンに映し出される自動車に対する歩き出すタイミングや歩行スピードを体感できるシステムを使い、感覚的に分かりやすい講習会となりました。

高齢者の交通事故は、夕暮れの買物時に多く発生しており、買物は明るい時間帯に済ませる、夜間には夜光反射材を身に着けるなど、交通事故に遭わないように努める行動が重要です。

高齢者の皆さん是非、実行しましょう。



模擬道路歩行「しつみゃんせ」

手芸教室でふれあい活動

天神自治会



押し絵に熱心に取り組む皆さん
左上 先生作品

天神自治会では、自治会員のふれあいを促進しようと十二月三日、天神自治会クラブ（菅原神社社務所）で「ふれあい手芸教室」を開きました。

今年で三回目。呼び掛けに応じ、女性十八人、男性三人の二十一人が参加しました。

自治会内の会員を講師に、来年の干支のイノシシを題材にした「押し絵」や「かき編み」、「生け花」に和気あいあいと取り組みました。

ふれあい活動を通して、地域のコミュニケーションが一層深まり、また、健康づくりにも役立っているようです。

「旭日双光章」を受章

故泉 武磨さん 故福元 司さん

町議会議員や町監査委員、町農業委員会委員を歴任された故泉武磨さんと故福元司さんへ国から「旭日双光章」が贈られ、十二月六日、町長室で町長から夫人へ証書と勲章が伝達されました。

【お二人の功績】

故泉武磨さんは、昭和四十二年五月から平成三年四月まで連続六期二十四年にわたり町議会議員として、また、昭和四十二年五月から平成十一年六月までの間、通算十六年にわたり町監



故泉 武磨さん



夫人の泉 清さんへ贈呈

査委員として在職し、議会の健全な運営や広く地方自治の発展に多大な貢献をされました。

故福元司さんは、昭和五十年五月に初当選以来、六期二十四年にわたり町議会議員として、また、昭和五十四年五月から平成八年七月までの間、通算七年にわたり町農業委員会委員として在職し、円滑な議会運営や優良農地の確保と適切な農地行政の推進に多大な貢献をされました。



故 福元 司さん



夫人の福元カツ子さんへ贈呈

餅つきべったんべったん

町立加治木保育所

園児に日本特有の文化の生活経験を行わせ、豊かな心を育む



蒸したもち米を口へ



かわいい餅つき



餅を丸めましょう

ことや健康を願って十二月六日、町立加治木保育所で「餅つき」が行われました。

まず園児は、蒸しあがったもち米の風味を味わい、手始めに先生がつき始めると園児から「よいしょ よいしょ」と合の手が入り、ほかほかの餅がつき上がっていききました。

年長さんの園児も先生に続き、小ぶりの杵を手にして調子よく餅をつき、そのかわいい仕草は、からくり人形の様でもありました。

つきあがった餅を、先生から小分けしてもらい、小さな手のひらで丸め、早速、口に入れて、味や食感を楽しみました。

園児に餅の味を尋ねてみると、「醤油の味」と返ってききました。

陶器ファンで賑わう 龍門司焼陶器まつり 竜門小学校龍門司焼体験発表

龍門司焼企業組合主催の第二十五回龍門司焼陶器まつりが十二月八日から十日までの三日間、龍門司焼窯元で開催されました。

まつりのために約一万点の花瓶、皿、黒茶家、からから、茶器、鉢などが用意され、市価の二割

引きで販売されるとあって、県内外から多くの陶器ファンが目当て品を買い求めに訪れていました。

鮮やかな色調の三彩、淡い鉛釉、黒釉、珍しい鮫肌や蛇蝎釉など、素朴ながらも優美な作風が多く、ファンに親しまれています。

また、窯元家屋の入口には、竜門小学校四・五年生の龍門司焼体験発表コーナーが設置されました。コーナーでは児童が龍門司焼の歴史を学び、十月十二・十三日に学校の体育館と窯元で、陶工の川原史郎さん、川原竜平さんを講師に、手びねりで湯飲みを、ろくろで茶碗を成形したこと、それを乾燥させた後、窯元の窯に入れ十一月二十一日から約二十九時間掛けて窯焼き、十一月二十七日に窯出し後、仕上げをし、約二か月に及ぶ体験のまとめや感想文、

作品の展示が行われました。児童は、粘土の触感や力加減、成形の苦労、陶工とのふれあいなどの体験を通し、伝統工芸のすばらしさや携わる人々の苦労、努力、喜びなどについて学んだことでしょう。



湯飲みの釉掛け



やっとできた 慎重に!!



窯焼き体験 火がすごい!!

どれにしようか品定め



児童から質問です

身も心もほっかほか ほかほか師走市

蒲生田通り商店街協同組合の主催による年末恒例のほかほか師走市が十二月九・十日の両日、かもだ想い通り一帯で開催されました。

日用雑貨、苗木、乾物、焼きイカ、はし巻やりんご飴などなど約百店舗の露店が歩行者天国となった通り沿いに立ち並び、町内外からの多くの買物客で賑わいました。

十日は、川島クリニックスの駐車場に特設舞台が設置され、加治木工業高等学校生の蔵王太鼓、加治木中学校ダンス部の創作ダンス、加治木女子高等学校吹奏楽部のクリスマスソング演奏、かわいい3B体操、ハーモニカ「かじき」同好会などが出演し、道行く多くの人々は買物を忘れ、盛んな拍手を送っていました。

また、



見事な「蔵王太鼓」を披露した加治木工業高校生の皆さん お腹の焼イカが踊りました



人 人 人 師走です!!

また、港町飲食業組合が美味くて栄養がある温かい「島津鍋（豚汁）」を低価で販売して、買物客のお腹を温め、かもだんばんこ。では、故新福貢さんが昔の加治木町の様子を描いた絵画のパネル展が行われ、生き生きと描かれた昭和初期の懐かしい風景画を観て、心も温かくなりました。

はりきつちよいもんど 田中すこやかクラブ

適度な運動を継続することにより、元気にはつらつと生活することを目的に田中自治会の田中長寿会が十二月十一日、地域の公民館で健康づくり運動を行いました。

田中長寿会では、今年四月から六月にかけて町が行った「はつらつ健康クラブ」をきっかけに、活動の名称を「田中すこやかクラブ」と決め、七月から毎週月曜日に一時間程度、自主的に活動を続けています。



特設舞台で加治木中学校ダンス部、3B体操の皆さん

人権の花が咲く

県立加治木養護学校

地域でも始めてみませんか。健康福祉課保健予防係へ御相談ください。

月二回は町の運動指導専門スタッフの支援を受け、レクリエーションやリズム体操、ストレッチ体操などを行い、仲間の皆さんとの楽しいひと時を過ごすことで、肩や腰の痛みが軽減し、楽になったなど効果が出てきています。



口、舌、背筋、腕 とにかく良く動く!!

鹿児島県方法務局と県人権擁護委員連合会共催の平成十八年度「人権の花」運動に取り組んでいた県立加治木養護学校で十二月十三日、閉会式が校内アリーナで行われました。

児童・生徒は、五月九日の開会式で配付されたひまわりの種を大切に育て、また、「人権とは何か」を学習することから自分なりに人権について理解を深めました。

児童代表は「人権とは何か、最初は答えられませんでした。学習により、自分中心の考えから相手进行の気持ちや行動、感謝する心が大切であること、また、人権によって私たちは守られていることも理解できました。」と話していました。



まもる君とあゆみちゃんの登場



小山田地区

小山田地域活性化グループ

さくららの会

平成八年創業
原点は「地産地消」にあり

小山田地区の女性起業グループ「小山田地域活性化グループ」の設立は、平成五年に「小山田農業生産グループ地域活性化検討会」を設置したことに始まります。

当地区では、畑台地を中心に野菜等の多品目が栽培されており、中でも高齢者や女性でも栽培できる作物として「大豆」に注目し、平成八年に魅力ある地域特産品の開発へ向け「さくららの会」を当初女性四人で結成しています。

平成十年にグループの再編を経て、現在、会員数十六人となり平成十三年に完成した町小山田農産物加工センターを拠点に地元食材にこだわり、豆腐、味噌、そば、ふくれ菓子、杣つき餅、あく巻、おこわ、旬菜弁当など安心・安全な商品づくりに取り組み、併せて学校給食の食材の一部については一次加工も行っています。

平成十三年には地元で小山田機械利用組合が組織され、委託により大豆の安定した生産体制が整い、現在、青大豆や黒大豆など色大豆を原料とする寄せ豆腐は風味が良く、白の豆腐と併せてちょっとした人気商品となっています。

また、平成十五年にはこれまでの活動が認められ、新農村振興運動むらづくりコンクール「自信と誇りをもてるものづくり部門」で、小山田地区が知事賞を受賞しています。

商品は、町物産館、役場売店、龍門滝温泉、JAあいら豊年屋、加治木合同庁舎売店、とれたて市（町物産館広場毎月第二土曜日）などでお求めください。

なお、会員を募集しています。興味のある方の御連絡をお待ちしております。

（問い合わせ先）

さくららの会

会長 犬童美津子

TEL 0995 (62) 1643

次の○に当てはまる漢字は何か？

「地○地○」

クイズ

地域生産—地域消費の略語で、「地域で生産した農林水産物をその地域で消費する」という意味です。地域の生産者は消費者に新鮮で安心・安全な農林水産物を供給し、消費者はその農林水産物を消費することで地域の農林水産業を支え、ひいては地域の生活環境を保全する役割を担うといわれています。

ごみは燃やさないで!!

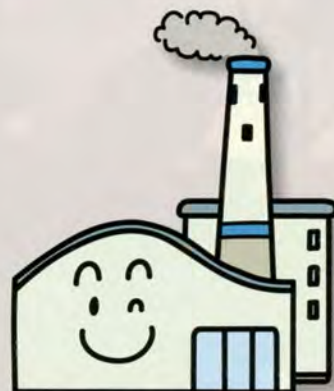
「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、廃棄物を焼却することは、原則として、禁止されています。

ただし、公益上若しくは社会の慣習上、やむを得ない廃棄物の焼却又は周辺地域の生活環境に与える影響が軽微である廃棄物の焼却として、政令で規定しているものは、焼却してもかまわないとされています。

野外焼却が認められているのは、次のとおりです。

- 一 国又は地方公共団体がその施設の管理を行うために必要な廃棄物の焼却
- 二 震災、風水害、火災、凍霜害その他の災害の予防、応急対策又は復旧のために必要な廃棄物の焼却
- 三 風俗慣習上又は宗教上の行事を行うために必要な廃棄物の焼却
- 四 農業、林業又は漁業を営むためにやむを得ないものとして行われる廃棄物の焼却
- 五 たき火その他日常生活を営む上で通常行われる廃棄物の焼却であって軽微なもの

以上は、特に法律上規制の対象となっていないませんが、周辺から苦情がでないように注意してください。



【問い合わせ先】 役場保険生活課 環境衛生係 Tel62-2111（内線131・136）



〈山中の不法投棄の現場〉

不審な奇行!? ごみ出しに注意!!

他人のごみを集め
なぜ、ここで捨てるの???

最近、ごみステーションに出してあったごみを山中に持ち出して、山中に散乱させるという悪質な行為が続いています。何の目的のためにこのようなことを繰り返し行っているのか、非常に不可解です。

町はこの行為について、加治木警察署へ届出をしました。不法投棄を行うと「五年以下の懲役若しくは千万円以下の罰金に処し、又はこれを併科する。」と規定されています。

今回の悪質な行為は、夜間にごみステーションからごみを持ち出した可能性があります。

ごみは収集日の当日の朝、午前8時までに地域で決められたごみステーションに出すようにしましょう!!



【問い合わせ先】 役場保険生活課 環境衛生係 Tel62-2111（内線131・136）

かじき情報局

お知らせ

募集

イベント

講座

お知らせ

無料健康相談始良・大口伊佐
地域産業保健センター

霧島市、始良郡内に所在する
従業員50人未満の事業場の事業
主・従業員を対象とした無料健
康相談を実施します。

○実施日 1月31日

2月7日・21日

午後2時～午後4時

○場所 霧島市準人町始良郡医
師会館

○内容 ①健康診断結果に基づ
く相談 ②病気の相談や生活
習慣病の予防法 ③ストレス
解消法 ④職場の労働衛生面
など

▽問い合わせ先 始良・大口伊
佐地域産業保健センター

Tel 0995(42)1205

健康講座開催
町保健センター

町では次の日程で、健康講座
を開催します。健康づくりのた
めに参加してみませんか。
会場は、いずれも保健セン
ターです。

○「こころの健康づくり」

・日時 2月20日

午後1時30分～午後3時

・講師 霧島市竹田医院

医師 竹田 克姑

・申込期日 2月16日まで

○「老人性認知症予防」

・日時 2月27日

午後2時～午後3時30分

・講師 県老人性認知症セン
ター所長 吉牟田 直(霧島
市松下病院院長)

・申込期日 2月23日まで

▽申込先 町健康福祉課保健予
防係

Tel 0995(62)2111

募集

家庭裁判所の補導委託先募集
鹿児島家庭裁判所

家庭裁判所では、家庭裁判所
が少年の最終的な処分を決める
前に、民間のボランティアの方
に、非行のあった少年をしばら
くの間預け、少年に仕事や通学
をさせながら、生活指導をして
もらうという「補導委託」制度
を行っています。

必要なときに適切な補導委託

先に少年を預けることができる
ように、補導委託先になってい
ただける方を求めています。

詳しくは最寄りの家庭裁判所まで
お気軽にお問い合わせください。

▽問い合わせ先

鹿児島家庭裁判所

Tel 099(222)7121

イベント

学校作品展開催
県立牧之原養護学校

学習成果の発表として、平成18
年度学校作品展を次のとおり開催
します。是非、御参観ください。

○校内作品展

・日時 平成19年1月24・25日

午前9時～午後4時

平成19年1月26日

午前9時～正午

・場所 本校体育館

○校外作品展

・国分シビックセンター1階

市民ギャラリー

・日時 平成19年1月29日

2月6日

・鹿児島空港3階ギャラリー

「フレンドリー」

・日時 平成19年3月1日～30日

▽問い合わせ先

県立牧之原養護学校

作品展係 上園

Tel 0995(56)2665

三種混合予防接種(1回目～3回目)の接種間隔を守りましょう

三種混合予防接種は、予防接種法に基づき定期予防接種として次のとおり接種時期・接種間隔が定められて
います。1期初回で、接種間隔が8週を超えてしまった場合は、定期接種では受けられません。そのため接種
間隔を守って接種してください。

三種混合予防接種(百日咳・ジフテリア・破傷風)

○接種年齢

生後3か月～7歳6か月未満(7歳6か月になる前まで)

○接種回数と間隔

接種の回数		接種の間隔
1期初回	3回	3～8週間隔で接種
1期追加	1回	3回終了後、1年後

1期初回の接種間隔(8週)を超えた方へ

三種混合の1期初回は、3回接種することによっ
て、最小限必要な抵抗力(免疫)ができるため、で
きるだけ3回の接種が望ましいです。

しかし、1期初回の間隔が8週を超えた場合は任
意接種となり、予防接種後に健康被害が起きた場合
に国の健康被害救済制度は受けられませんので御注
意ください(加治木町が加入している損害保険の対
応となります。)

接種費用は加治木町が負担いたしますので、お手
持ちの予診票を使って接種してください。

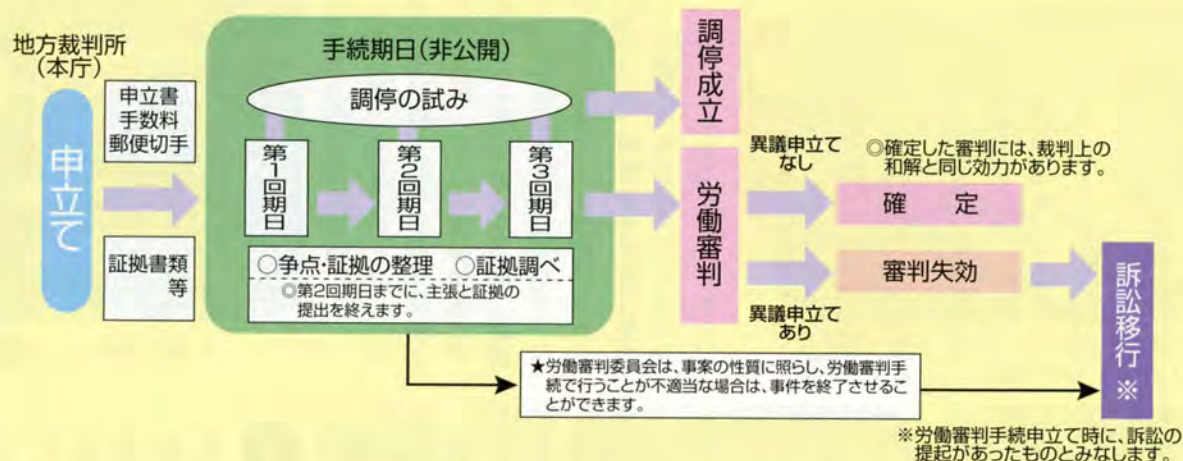
【問い合わせ先】 健康福祉課 保健予防係 Tel 62-2111 (内線502)

新しく始まった労働審判制度

平成18年4月から、労働関係に関するトラブルを迅速かつ適正に処理し、実効的な解決を図るための手続として、労働審判制度が始まりました。

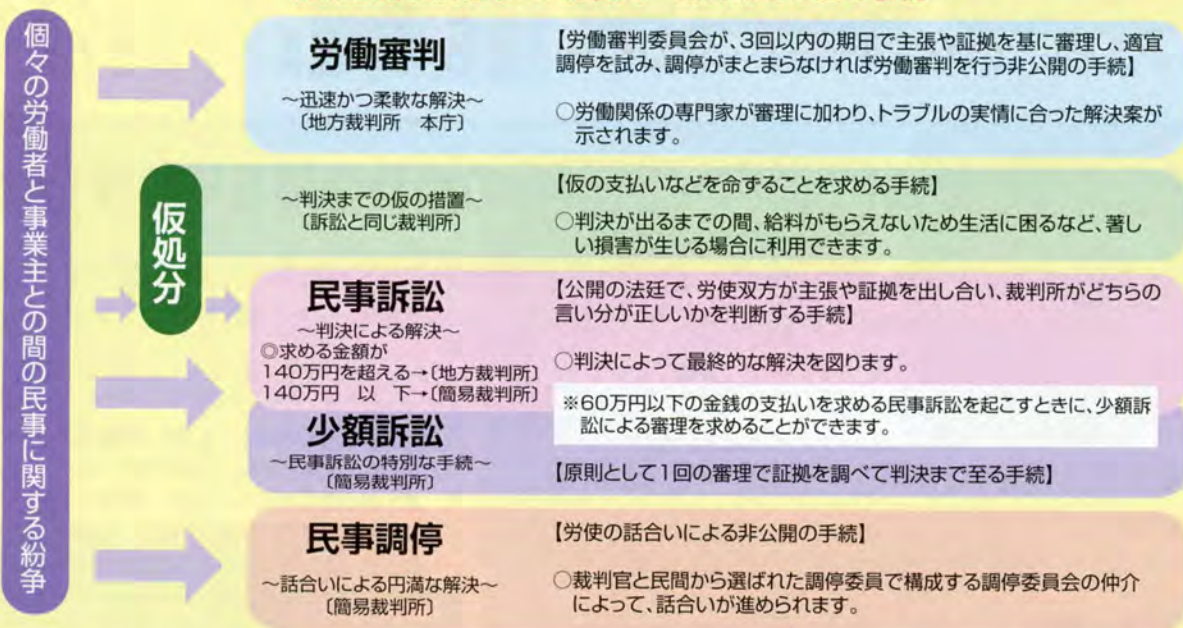
この手続では、裁判官と労働関係に関する専門家である労働審判員2人で組織する労働審判委員会が、解雇をめぐるトラブルなど、個々の労働者と事業主との間に生じた労働関係に関する民事上の紛争を、3回以内の期日で審理します。そして、適宜、話し合いによる解決である調停を試み、調停がまとまらなければ、事案の実情に即した解決を図るための判断（労働審判）を行います。

～労働審判手続の流れ～



この制度の開始により、労働関係の紛争を裁判所で解決するための選択肢が広がりました。「迅速性」、「専門性」、「柔軟性」という労働審判手続の特徴を十分に理解し、他に考えられる手続との違いなども念頭に置きながら、労働審判手続にふさわしい事案についてこの手続を活用することにより、紛争の早期の解決が図られるものと期待されます。

個別労働紛争の解決～裁判所での主な手続～



手続を選択するに当たっては、当事者は、早期に、法律に基づいた的確な主張、立証を行うことが重要です。そのためには、必要に応じて、申立て前に法律の専門家である弁護士に相談することが望ましいでしょう。

【問い合わせ先】 鹿児島地方裁判所・鹿児島家庭裁判所 Tel 099-222-7121

歯周疾患検診を受けてみませんか

歯と口の状態、入れ歯の状態、あなたに合った歯磨きの方法がわかります。

歯周疾患検診を受けて^{はちまるにいます}8020(80歳で20本以上の歯を残す)を実現しましょう!

ししゅうびょう

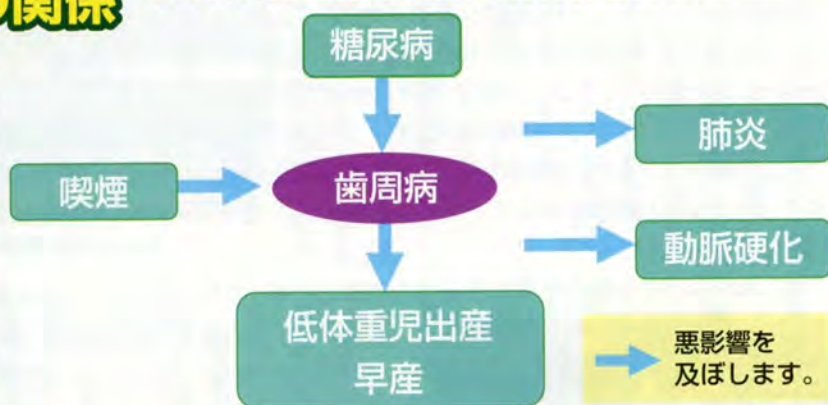
歯周病は細菌の感染による慢性の病気です。細菌のつくる毒素や炎症を引き起こす物質が血管をとり、全身に悪影響を及ぼす可能性があります。

さらに、糖尿病や喫煙習慣があると、歯周病が進行しやすく、治りも悪くなると言われています。

※ 歯周病と全身との関係

☆40歳以上の約9割^(注)の方が歯周病にかかっており、むし歯とともに歯を失う原因の一つです。

(注) 平成14年度鹿児島県成人歯科疾患実態調査



※次の表でひとつでもあてはまる項目がある方は、知らないうちに歯周病が進行しているかもしれません。ぜひ、歯周疾患検診を受けましょう!

1	歯ぐきが赤く腫れている。
2	歯みがきの時に出血する。
3	むずがゆい感じがする。
4	歯ぐきが時々腫れて痛む。
5	歯が長く伸びたように見える。
6	歯がグラグラ動く感じがする。
7	歯と歯の間に食べ物のはさまる。
8	歯ぐきを押さえるとウミが出る。
9	朝起きた時に口の中がネバついて変な味がする。
10	息が臭いと言われる。

町では、8020運動推進員(食生活改善推進員と兼務)が活動しています!

噛むことの大切さとむし歯予防について栄養教室等に参加されたみなさんへお伝えしています。噛みごたえのある食事について学習したい団体がありましたら保健センターまでお知らせください。

歯周疾患検診では、次のことを行います。

- 口の中の粘膜や歯ぐき、舌に異常がないか、むし歯がないかをみます。
- 歯と歯ぐきの境目にある溝(歯周ポケット)の深さをはかります。
- 入れ歯が歯ぐきにあっているか、かみ合わせがあっているかをみます。
- 自分の歯と口に合わせた歯磨きの方法を教えます。



ジェンダー(社会的文化的に作られた性差)からの解放は男女共通のテーマです。

シリーズ No.58

男女共同参画



メディアの受け手から読み手へ (テレビCM、雑誌からメディアを読み解く講座)

新しい価値の創造「男女共同参画推進講座」

講師：ピア・スタディング 高崎 恵氏

11月21日と12月5日に、高崎恵氏の講座がありました。

「メディア(テレビ、新聞、雑誌などの媒体)を、ただ、見聞きするのではなく、読み解くことが大事です。「テレビが言っていたから…」でなく、自分でメディアからの情報を考えてみましょう。ジェンダーは社会的に作られた性別です。社会には多くの情報があります。だからメディアとジェンダーの関係を感じてほしいのです。」

1回目の講座はテレビCM5本を見て、参加者が話し合う「ワーク」。テレビは生活スタイルと深くかわるので、ジェンダーと関係があるのです。高齢社会といひながらメディアの想定は若い人で、さらにテロップ(字幕)多用主義です。

「楽しみや喜びを今後の生活に活かすためには、「私」の思いを作り手に伝えることが大事です。」



家族にはいろんな形態があります。だから自分たちがきちっと企業に伝えることが大事です。受けるだけでなく、気づいた人が、自分の思いを発信できる人にならなう。地域の中で、疑うことだけや伝聞だけでなく、傷つく人が減るようにしたいもの。やさしい地域とは多様な人を受け入れられること。多様性(違うこと)を認めることがこれからのコミュニケーションで大事なことです。メディアは身近に価値観を教えてくれるものです。」と話されました。参加者からは、「いろんな感じ方があると思った。」「思い込みで見えていた。」との意見がありました。

また2回目の講座は、雑誌を、女性誌・男性誌・女性ファッション誌・男性ファッション誌に分けて、切り貼り作品(コラージュ)を作り、社会を読み解く作業。広告なしでは成り立たない社会ですが、「新しい価値を作っていくのは自分たち。感じ方の違いは当たり前、違っていて楽しい、いろんな人がいるから失敗しても他の人から学べばいい、失敗してもやり直せるというメッセージを伝えていきたいものです。」と話されました。

人権フェスタ2006inさつま町 12月6日、さつま町で開催

県・さつま町・鹿児島地方法務局、県人権擁護委員会、県人権啓発活動ネットワーク協議会の主催でフェスタが開催され、啓発資料展・人権作文の発表・人権絵本の映像紙芝居・パンプーオーケストラ(写真)・落語・講演などがありました。

落語家の林家花丸さんは、笑いたっぷりに、「人として忘れてはいけない大切なことを、誰かに伝え、みんなの知恵を出し合って、それぞれの役割で支えあえるようになりたいもの、明るいまちにしていきたいもの。」と話されました。



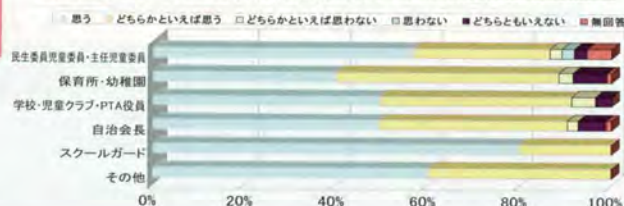
子どもの虐待防止に、ほとんどの方が 関心の高まり「ある」

ー加治木町のアンケートからー

10月に、地域の子どもと接する機会が多い方々へのアンケートを実施しました。

児童虐待への関心は「高まっていると思う」「どちらかといえば思う」と合わせると、ほとんどの方が高まりを感じています。

社会の児童虐待への関心は高まってきたと思いますか？



子ども虐待の通告や相談

児童虐待が疑われる子どもの存在に気付いた場合、すぐに、通報を!

女性相談 (無料)

毎週火曜日 午前9時～正午 電話相談・面接相談

通報・相談専用電話 62-2230 又は 役場 62-2111 (内線281) 秘密は厳守します。

教育委員会だより

年頭に想う「育てる言葉」 学校教育課長 金久三男

言葉には、自然のように四季があると言われています。「冬のように冷たい言葉」、「春のように希望に満ちた言葉」、「夏の燃える太陽のように温かい言葉」、「秋のように爽やかな言葉」。

私たちは日常生活の中で、言葉を媒体として相手とコミュニケーションをとっています。私たちは、言葉によって相手を励まし勇気づけたりすることもあります。時として言葉によって相手を傷つけたりすることもあり、場合によっては相手の人生に深い影響を及ぼすことさえあります。

ところで、言葉は植物や水にも影響を及ぼすことが分かってきました。いつも優しい言葉をかけられて育った植物は、見事な花や実を付けます。人間の言葉を理解しないと思われる植物さえも反応することから、言葉にはエネルギーがあり、波動となって相手に伝わるのです。相手にどう変わってもらいたいかを思い続け、それを具体的な言葉にして考え続けると、植物でもどんどん変わっていきます。動物でも思いやりのある優しい言葉に反応して人間を癒しますし、ましてや言葉を理解できる人間を変えたり癒したりすることは容易に理解できることであると考えます。

ですから、私たちは、一言の威力を知り、一言を大事に使い、一言を選んで話すなど、一言一句を噛み締めて相手に伝える努力を続けたいものです。今年も「相手が喜ぶ言葉」を追い求めて……。

ふるさとのうるわしい伝統やしきたりを子どもたちに伝えよう

12月3日(日)加治木町子ども会育成連絡協議会は、町内の子ども会員・育成者82人を集め、錦江小学校体育館で「しめ縄」作りをしました。

集まった子どもたちは、地域の指導者14名から、日本の年末年始のことについて話を聞きながら、自分の家に飾るしめ縄を作りました。体験したことのない稲わらでの創作活動でしたが、子供たちは、手ほどきを熱心に受けて、手を真っ赤にはらしながらも立派に仕上げました。

しめ縄は、我が家に穢れや禍が入らないように、年神が宿る清浄な地であることを示すのが由来と言われていいます。わらを使うのは稲作を中心にした生活様式が、しきたりや風習として今に伝わっているものと思われます。



(写真:親子に手ほどきする有志指導者)

加治木町学校保健会(西園浩文会長) 鹿児島県学校保健・安全・給食 優秀団体表彰

平成18年度の学校保健に関する取組で優秀な団体や個人として加治木町学校保健会が表彰されることになりました。県立養護学校も加えた小学校・中学校・高等学校の連携をとった保健活動が認められたもので、同保健会の長年にわたる地道な保健活動、児童生徒の保健安全意識の高揚はすばらしいものでした。

また、町医師会・歯科医師会・薬剤師会の皆様の物心両面からの御協力もこれを支えています。

年末年始は、郷土を一番意識する時期と言われています。ふるさとの良さとともに、いままで育んできた伝統や習わしを、子どもたちに伝えていくよい機会でもあります。門松、お雑煮、四方拝、初詣など、子どもたちと作ったり、体験させたりする中で自然に伝えていってほしいものです。

ふるさとを思う心や態度は、そのようなふるさとの伝統や習わしを受け継いでいく中で培われていくものと思います。

町育英奨学資金奨学生を募集

1 目的

町内に居住する子弟のうち高等学校、高等専門学校、専修学校、大学に進学又は在学する優秀な学生・生徒で、経済的理由により修学が困難な者に対し、加治木町育英奨学資金を貸与します。

2 条件

- (1) 学業成績良好な者
- (2) 在学校長又は出身校長が推薦する者
- (3) 学資金の支弁困難な者
- (4) 所得の制限があること。
- (5) 保証人が得られること。

3 貸与月額

高校生…………… 12,000円以内
大学、高専、専修学校生…………… 30,000円以内

4 提出書類

- (1) 育英奨学資金貸与申請書

- (2) 奨学生推薦調書

- (3) 健康診断書

- (4) 進学する学校の合格通知書の写し又は在学証明書

- (5) 世帯全員の所得を証明するもの

※ 給与所得者は、源泉徴収票の写しで可

※ 営業所得者は、税務課の所得証明

- (6) 世帯の住民票謄本

5 受付期間

平成19年2月5日(月)～平成19年3月23日(金)

6 申請書等の配付及び受付

加治木町教育委員会総務課

TEL 0995-62-2111 (内線332)

※ 結果は、育英奨学資金貸与審議会の選考後に申請者に通知します。

第40回加治木町駅伝競走大会

1月27日(土)開催

第40回加治木町駅伝競走大会が、1月27日(土)に加音ホール前をスタート・ゴールとする、堤防周回コースで行われます。

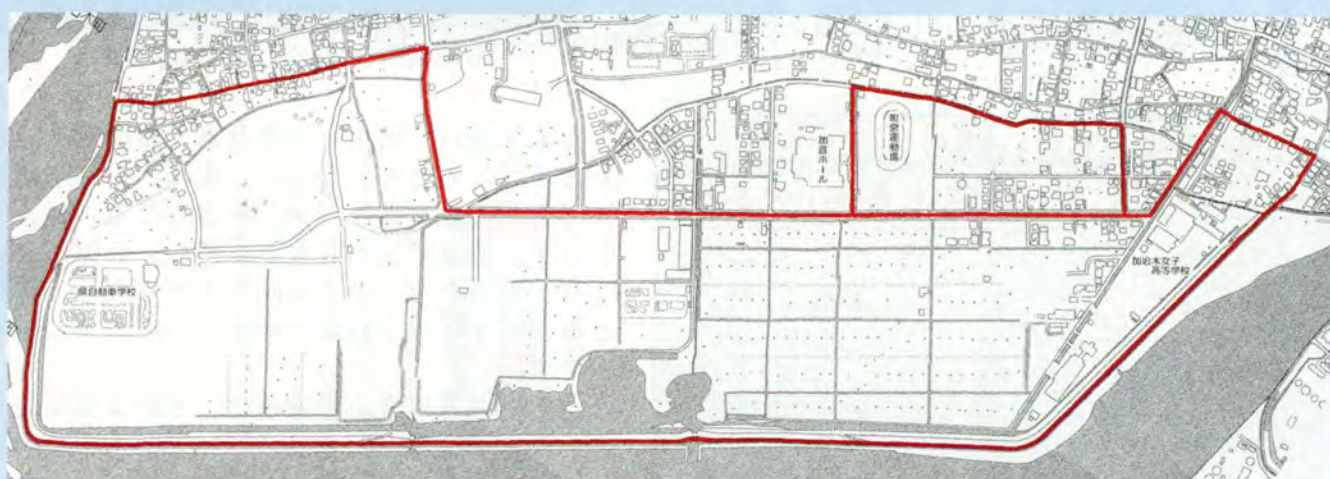
このため、午前9時30分から午後0時30分までの間、コース付近の住民の皆様には御迷惑をお掛けしますが、円滑にレースが実施できますよう、御協力をお願いいたします。

《スタート時間》

◎女子コース〔小学男女・中学女子・高校女子・一般女子〕 午前9時30分

◎男子コース〔中学男子・高校男子・一般男子〕 午前11時

▶コース図



—— が駅伝のコースです。



耳より情報

知識のオアシス 図書館です!!



「レインツリーの国」

有川 浩
新潮社

きっかけは「忘れられない本」そこから始まったメールの交換。あなたを想う気持ちに嘘はない。でも会うことはできません。かたくなに会うことを拒む彼女には、ある理由があった…。



「ともだちおまじない」

内田麟太郎 / 作 降矢なな / 絵
偕成社

ともだちおまじないって知ってる?ともだち欲しい人にだけ効く、楽しくてちょいと素敵なおまじない。唱えてみたら、あら不思議。ともだちたちまちできちゃうかもよ!

その他の新着本

クラウドディア 奇蹟の愛	村尾靖子
水曜日のうそ	クリスチャン・グルニエ
親と離れて「ひと」となる	足立倫行
特攻 最後の証言	「特攻最後の証言」制作委員会
ことばあそび玉手箱	石津ちひろ
ピーター★パン イン スカーレット	デラルディン・マコックラン
ねむい ねむいのほん	ジュディー・ヒンドレイ
のんびりオウムガイとせっかちアンモナイト	三輪一雄



「獣の奏者 I 闘蛇編」

上橋菜穂子 講談社

獣ノ医術師の母と暮らす少女エリン。ある日戦闘用の獣である闘蛇が何頭も一度に死に、その責任を問われた母は処刑されてしまう。孤児となったエリンは、蜂飼いのジョウンに助けられ暮らすうちに、天を翔ける王獣と出会い、その姿に魅了され、王獣の医術師になろうと決心するエリンだったが。

おはなし会の あんない

(毎月第2土曜日)

- 日 時：2月10日(土) 午後2時30分から
 - 場 所：図書館絵本コーナー
 - 内 容：絵本の読み聞かせなど
- ※ どなたでも参加できます。お気軽にお越しください。



2月の休館日：5日(月)・12日(休日)・19日(月)・26日(月)

郷土館コーナー

「時代の変遷と計算器」

その(1)「そろばん」

現代世界の計算機の主流は、どの国でもコンピュータを内蔵した計算機ですが・・・日本などでは、古くから使われている加減乗除の計算を行う計算器の一つに算盤(そろばん)があります。

現在、わが国で普通使われているそろばんは、梁の上にある五玉が一つ、梁の下にある二玉が四つの物です(写真3・4)。

実は、そろばんは、中国の宋の時代(九六〇～一二七九年)に始まり、日本には一五七〇年代に伝わりました。



〔算盤 上から1、2、3、4〕

また、日本最古のそろばんは、前田利家が文禄の役(一五九二年)のとき、九州の肥前名護屋で使っていたそろばんが、前田家の尊経閣に保存されていました(『世界大百科事典・平凡社編』)。

それは、中国で使われていた写真1のような五玉が二つ、一玉が五つのものであり、江戸時代になり日本で広く使われるようになったと言われています。また、江戸時代の初期には、写真2のような梁の上にある五玉が一つと、梁の下にある一玉が五つの物が現れ、中期には現代のそろばん(写真3の大玉のもの)も出現しましたが、これはあまり広まらなかったようです。塾では既にそろばん学習はありましたが、明治五年(一八七二)、新政府により、小学校において「そろばん」教育も始まりました。計算の経過が分かりやすく、暗算にも強くなることから、現在小学校三年生で「そろばん」の加・減算の授業がなされています。また、現代社会では電卓が主流ですが、「そろばん」は電源を使わず、いつでもどこでも手軽にできる計算器であり、日本式のそろばんは、アメリカをはじめ世界各国に輸出されています。郷土館にある「珍しいそろばん」を、是非見にお出でください!

竜門旬会

潮風の丘のチャペルや枯尾花
山茶花や台地ゆつくり雲開く
火の島に重き雲置く十二月
言葉過ぎあと臍をかむ寒さかな
実千両活けて麓の田之神像
倍がえす安産小石神の留守
数へ日やあのハミングは第九らし
人情に涙電気カーペットの上に
兵六餅宿題の子に木兎啼けり
冬帽子寂しさ半分隠しけり
街路樹の枝打ち落とし年用意
世の歪み正しかれよと菊満開
落ち残る赤き怠惰の柿二つ
伐採の進む台地や冬の鳥
紅かなめ笛に幼き路地の秋
ど根性路傍の大根見習えと
山上のホテルや冬の霧重し
見る夢の形をなさず風邪の床

酒匂 君江
藤原 壽子
藤崎 文庫
神村 洋子
犬童 利春
波江野霧石
稲恒 寧夫
谷口 鐵雄
脇本 星浪
田代 俊泉
岩田美知江
松田 藤人
津曲 芳夫
郡山マサ子
竹山 洋子
川畑 克己
園田 千秋
川崎 黒兎

連載④

棕鳩十文学記念館コーナー

棕鳩十の 動物物語シリーズ

四、イノシシ

棕鳩十は、



暇をみては山歩きをして動物たちを観察し、狩人たちに会って、動物の生態や狩りのやり方など、こと細かに調査しました。
イノシシについても、志布志の四浦や栗野岳にたびたび取材に出かけ、それを基にした、すばらしい名作を数多く残しています。

山の民とイノシシ

昭和三十九年

奥深い山の斜面を切り開いて作った大切な畑を、えさを求めて荒らしまわるイノシシども。しかし、その肉や毛皮は、山の民にとってはありがたい宝物。

この本は、そのような両者の間に生まれた、おかしくも不思議なエピソードの数々が満載されており、人間どもの生き方を改めて考えさせられる作品です。舞台は、志布志の四浦地方です。

カガミジシ

昭和四十四年

志布志の四浦と、県境を隔てた宮崎県側の山奥が舞台。イノシシ狩りの名人源助じいと、名にし負う王者カガミジシ（カガミジシと言う名前の由来は何でしょうか）との知恵比べを、イノシシの生態や、狩りの方法などを交えて、興味深く描いています。源助じいたちの苦心の追跡が実り、ついに銃が火を噴きます。けれどもカガミジシの姿はどこにも見当たらず……最後の場面では、あなたもきっと涙を流されることでしょう。

栗野岳の主

昭和十八年

「空には降るほどの星が輝いていた。栗野岳の原始林は、井戸の底のような暗さであった……」

平易で、流れるように美しい文章ながら、野性動物の厳しい生き様を生々しく訴える作品です。

狩人や猟犬の攻撃から、幾たびも逃れ、「栗野岳の主」の異名を持つ老ジシが、家族を守るため、知恵と勇気の限りを尽くして、生き延びていく姿に心を打たれます。

かつて、小学校の教科書にも掲載され、棕文学の代表作の一つとして、広く親しまれています。

▼ほかの作品

イノシシの谷

昭和四十九年

イノシシの女王

昭和三十六年

藤吉じいとイノシシ

昭和五十九年

イノシシ剣法

昭和三十二年

琉球のシシ

シシ狩りさまざま

校庭のシシ

シシ狩り物語

奄美のシシ

昭和三十九～四十二年

おいとうげ

平成元年

第16回棕鳩十文学記念館賞 読書感想文コンクール贈呈式

572名の応募者の中から、101名が入賞され、賞状の贈呈式が行われます。

日時：平成19年1月20日午後1時～

会場：加音ホール（小ホール）

◆社会福祉協議会へ◆

新町	岩原東	天神	迫下	須崎	長谷
福元	別府	杉木	吉田	肥田	伊福
(夫 ヤス子)	(夫 ミエ子)	(夫 政雄 76)	(母 トキエ 75)	(母 ミツエ 86)	(母 アヤ子 78)



香典返しの代わりに御寄附を
いただきました。厚く御礼申し上
げますとともに故人の御冥福を
お祈りいたします。

()は故人

西ヒナバ 窪田 郁枝 (夫 正廣 81)

徳永 徳部 久志 (妻 節子 58)

東吉原 大山 好子 (夫 秀 85)

反土黒川 鎌田 利彦 (妻 道子 77)

里ノ下 神田 俊一 (母 イカ 89)

札立 大脇 和恵 (夫 三二 81)

東塩入 南 勝昭 (妻 ヒデ子 60)

柳田 山森 慶昭 (母 フミエ 84)

端山 東 利夫 (妻 妙子 85)

宮田ヶ平 垣内 トミ子 (夫 勝 85)

▼12月15日までの御寄附を掲載しました。

西 具志頭 小 岩 中 上

具志頭 形 戸 馬 原

壮海 航 夢 巧 叶

太 緑 志 し 叶 翔 と 愛

雅 良 昌 優 裕 哲

之 司 人 里 彰 郎

蔵 東 西 蔵 蔵

王 塩 塩 王 王

団 入 入 団 団

地 下 下 地 地



出生児 保護者 自治会

諸 末 岩 大 赤 田 橋 橋

藤 吉 田 岩 根 中 口 口

亮 亮 連 弘 香 歩 結

平 哉 恩 樹 津 未 心

孝 二 務 智 浩 保 保

幸 英 弘 一 一 一

幸 幸 幸 幸 幸 幸

幸 幸 幸 幸 幸 幸

幸 幸 幸 幸 幸 幸

▼12月15日までに住民台帳に記載された方を掲載しました。

1月・2月医療機関在宅医計画表

都合により変更になる場合がありますので、必ず事前に御確認ください。

月 日		医 療 機 関	所 在 電 話		医療機関（小児科）	所 在 電 話		医療機関（眼科）	所 在 電 話	
1月	14 (日)	さん の う 内 科	加治木	63-3000	すこやかクリニック	加治木	62-0308	渡辺眼科クリニック	国 分	45-6888
	21 (日)	松 本 外 科 胃 腸 科	加治木	63-1911	国 分 生 協 病 院	国 分	45-4806	い ち ち 眼 科	国 分	47-3618
	28 (日)	とくだクリニック	溝 辺	64-1717	きたはらこどもクリニック	国 分	64-0677	神 村 眼 科	始 良	64-5556
2月	4 (日)	加治木駅前クリニック	加治木	62-2222	あ い ら 小 児 科	始 良	66-0115	隼 人 福 島 眼 科	隼 人	64-2940
	11 (祝)	佐 藤 医 院	溝 辺	59-2607	いかりこどもクリニック	国 分	48-5858	西 眼 科 医 院	加治木	62-2526
	12 (休)	港 町 ク リ ニ ッ ク	加治木	63-9791	希 望 ケ 丘 病 院	始 良	65-3207	椎 原 眼 科 医 院	隼 人	43-1050
	18 (日)	壱 岐 医 院	溝 辺	59-2019	こどもクリニック山崎	始 良	65-1350	青 雲 病 院 眼 科	始 良	66-3080
	25 (日)	川 畑 内 科	加治木	63-1499	た ち く ら 小 児 科	国 分	47-1211	た か ひ ろ 眼 科	始 良	55-6000
診療時間		午前 9 時～午後 5 時			午前 9 時～午後 5 時			午前 9 時～午後 1 時		

1月の納期(納期限1月31日)

納期限までに納めましょう。

区 分	1月	2月	3月
固定資産税			
都市計画税			
町県民税普通徴収	第4期		
国民健康保険税	第7期	第8期	
介護保険料普通徴収	第7期	第8期	

納税は手軽で便利な口座振替で！
申込みから振替開始まで約1か月を要します。

問い合わせ先 税務課 TEL62-2111 (内線101～106)

「お知らせ」が電話で聞けます。 ☎ 62-2541



平成19年度 交通災害共済 加入申込み受付開始

1. 共済掛金：1人年500円
2. 受付場所：役場住民課又は
町県民税申告時(1月23日～2月13日)
3. 共済期間：平成19年4月1日～平成20年3月31日

※ 平成19年4月1日以降の申込みは、受理した翌日から平成20年3月31日までとなります。

【問い合わせ先】役場住民課 TEL 62-2111 (内線 122)

ホームページアドレス <http://www.synapse.ne.jp/kajiki/>

まやかと探訪 はいチーズ



手びねりの作品を手にする竜門小学校のマメ陶工たち
講師 後列右から川原史郎さん、川原竜平さん [10/12]



高齢者交通安全講習会に参加し、
熱心に受講する西元地区の皆さん [12/ 4]



田中自治会の「田中すこやかクラブ」の皆さん
“若くないやしつろ” [12/11]



QRコード



携帯電話から町公式
携帯電話用HPに
アクセスできます

人口・世帯の動き

平成18年12月1日現在

◎総人口 22,824人(－8)

男/ 10,523人(+1) 女/ 12,301人(－9)

出生 18人/死亡 19人/転入 61人/転出 68人

◎世帯数 9,042世帯(+4)

※()内は前月との比較

今月の表紙

【迎春】

新年明けましておめでとうございます。

竜門小学校の龍門司焼体験と龍門司焼陶器まつりについて、約2か月間取材をさせていただきました。

作品は、温度約1,200度、炎のない神秘の世界で、陶器としての息吹を吹き込まれていました。

我が町も新首長を先頭に、新たなまちづくりを町民皆で行い、春の戸を開けましょう。

1月

January

日	月	火	水	木	金	土
14	15 可燃A 健康相談(栄養) 農地法各条申請締切 防災の日(サイレン) 保健センターで遊ぼう会	16 可燃B 1歳6か月児健診 女性相談	17 不燃A びん・かんA もぐもぐ教室	18 可燃A 心配ごと相談 母子健康手帳交付	19 可燃B フラA 20	20 棕鳩十文学記念 館賞贈呈式 青少年育成の日
21 家庭の日	22 可燃A 健康相談 保健センターで 遊ぼう会	23 可燃B 女性相談	24 不燃B びん・かんB	25 可燃A フラB 3歳児健診 母子健康手帳交付	26 可燃B 27	町駅伝競走大会
28	29 可燃A 健康相談	30 可燃B 女性相談	31 紙A 紙B	1月31日まで ●町・県民税普通徴収(第4期) ●国民健康保険税(第7期) ●介護保険料普通徴収(第7期)		

2月

February

日	月	火	水	木	金	土
2月28日まで ●国民健康保険税(第8期) ●介護保険料普通徴収(第8期)				1 可燃A 心配ごと相談 3か月健診 母子健康手帳交付	2 可燃B フラA 2か月児健康相談	3
4	5 可燃A 健康相談(栄養) 保健センターで 遊ぼう会	6 可燃B 女性相談	7	8 可燃A フラB 母子健康手帳交付	9 可燃B 2歳児健診 児童手当支給日	10 加治木とれたて市
11 建国記念の日	12 可燃A 振替休日	13 可燃B 女性相談	14 不燃A びん・かんA 行政相談	15 可燃A 心配ごと相談 母子健康手帳交付 農地法各条申請締切 防火の日(サイレン)	16 可燃B フラA 特設人権相談	17 青少年育成の日
18 家庭の日	19 可燃A 健康相談(栄養)	20 可燃B 心の健康づくり 講演会 女性相談	21 不燃B びん・かんB 県下一周駅伝 加治木通過	22 可燃A フラB 3歳児健診 母子健康手帳交付	23	24
25	26 可燃A 健康相談 保健センターで 遊ぼう会	27 可燃B 老人性認知症 予防講演会 女性相談	28 紙A 紙B	※ びん・かん等の資源物につ いては、汚れを落として出し てください。		

2月 上水道休日・夜間緊急時修繕工事当番表

※工事費用（基本料金5,000円＋材料費及び工賃）は個人負担です。

2月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
業者	第一建設(株)			福永建設(株)				第一				沖産業(有)				山藤				(有)大洋水道				岩澤				迫村工業(株)	

加治木町管工事組合

(有)上村機設工業 小山田 1531 TEL 62-4080	福光設備工業(株) 宮島 31-14 TEL 66-2662 夜間TEL 66-1814	吉川設備 木田 4749-4 TEL 62-2687	(有)錦江設備地下工業 錦江町 221 TEL 62-2839
(有)加治木パイピング 港町 131-160 TEL 63-2480 夜間TEL 62-5122	(有)鳥丸設備工業 反土 4-15-429 TEL 62-4233	(有)尚武組 小山田 192-2 TEL 63-3426	迫村工業(株) 反土 3246 TEL 63-1647
(有)大洋水道 木田 4599-3 TEL 63-4196	沖産業(有) 朝日町 173-1 TEL 63-4832	福永建設(株) 反土 16-35 TEL 63-0400 夜間TEL 090-3798-4150	第一建設(株) 朝日町 2 TEL 63-4217
(株)山藤建設 本町 3 (正) TEL 090-9070-9080 (副) TEL 090-3328-6972	(株)岩澤組 新生町 10-357 (正) TEL 090-5925-1084 (副) TEL 090-1190-5915	(有)ナカタマリ 木田 4242-6 TEL 090-4585-5302	

1. 土、日、祝日及び夜間の修繕工事は上記の加治木町管工事組合が行います。
2. 土、日、祝日及び夜間の修繕工事は緊急時のみ御依頼ください。

3. 水道施設の新設、増設、改造等は町指定給水装置工事事業者以外はできません。
4. 家屋の改築、取壊し等をされる場合は水道メーターの破損、紛失に御注意ください。

5. 水道の休止、料金のお問い合わせの際は、水道のメーター検針票（お知らせ票）、領収書に記載してある需要家番号をお知らせください。